

立地市町村等の産業構造について

令和5年11月28日

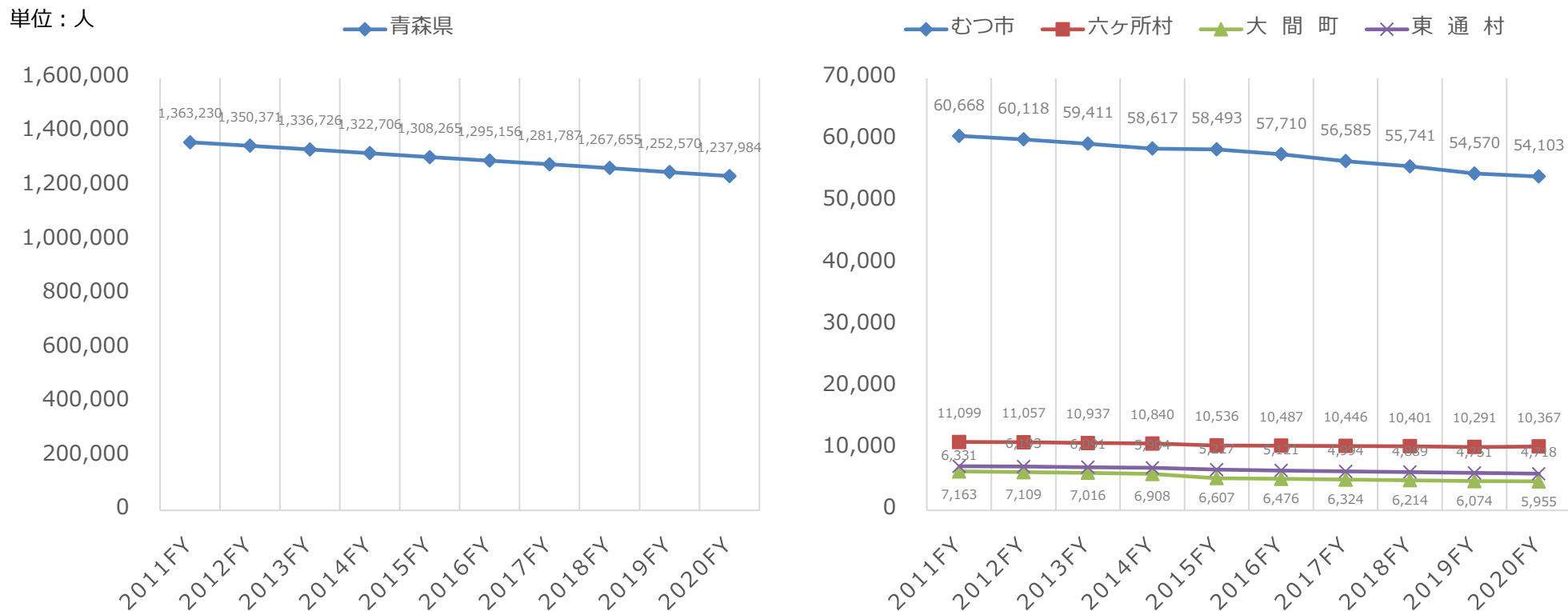
資源エネルギー庁

地域の将来像の検討に際して

- 原子力施設が地域と共生していくための、立地地域等の「将来像」、その実現に向けた「基本方針」、将来像の実現に向けた取組の「工程表」のとりまとめに向けた議論、検討に際しては、地域の現状・実態を把握し、地域の実情・特性等を十分に踏まえていくことが重要。
- そのため、第1回において、客観的なデータに基づき、地域の現状・特性等を把握するため、地域経済の分析、共有を行う。
- 具体的には、人口動態や産業構造、人の流れ、地域の特徴や強みを分析、共有することを通じ、今後の議論、検討の基礎としていく。

4市町村の人口の推移

- 4市町村の人口はいずれも減少傾向。減少率は、むつ市は青森県とほぼ同様、六ヶ所村は青森県よりも低く、大間町と東通村は高い傾向。

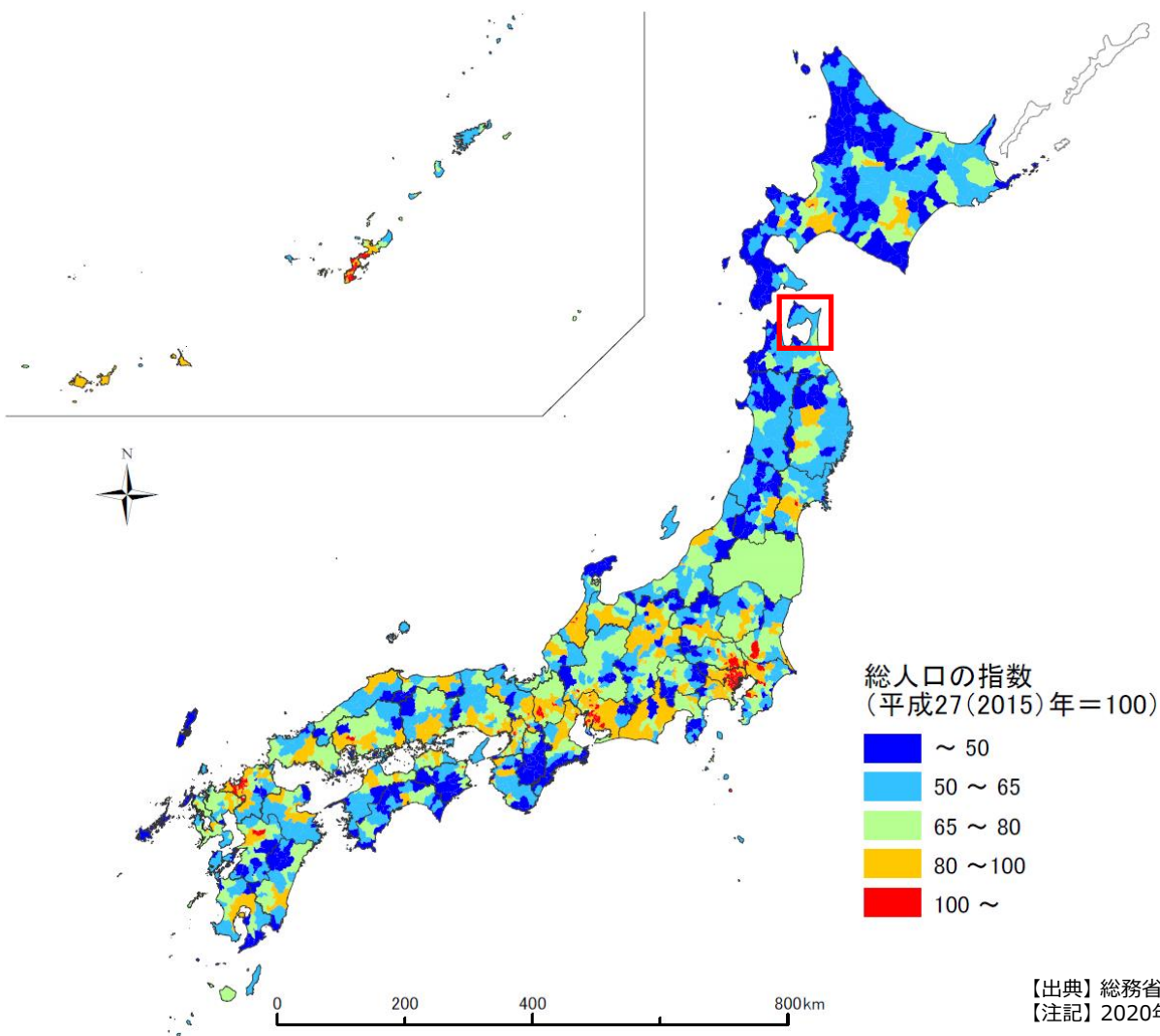


	青森県	むつ市	六ヶ所村	大間町	東通村
2011FY	1363230	60668	11099	7163	6331
2020FY	1237984	54103	10367	5955	4718
減少率	9.20%	10.80%	6.60%	16.90%	25.50%

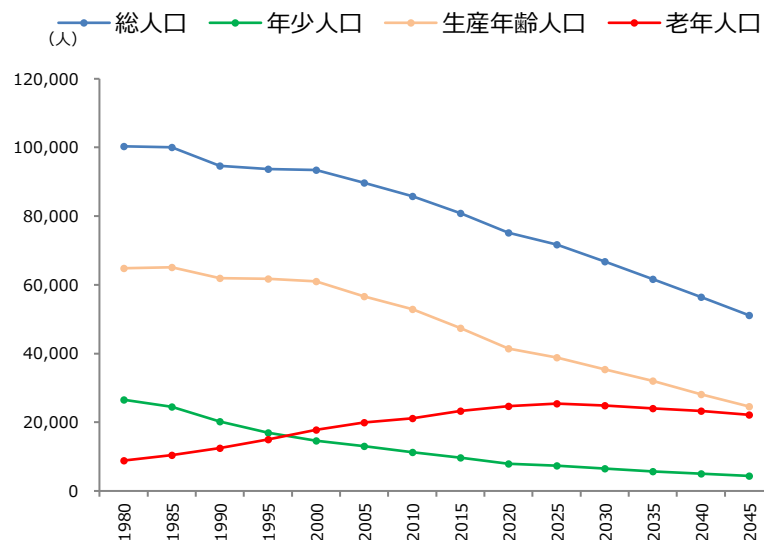
4市町村の人口推移と推計

- 総人口減少、生産年齢人口減少が早期に進行するおそれ。同時に年少人口、老年人口も減少していく傾向。

2045年の地域別の人口指数（2015年比）



4市町村の人口の推移と推計

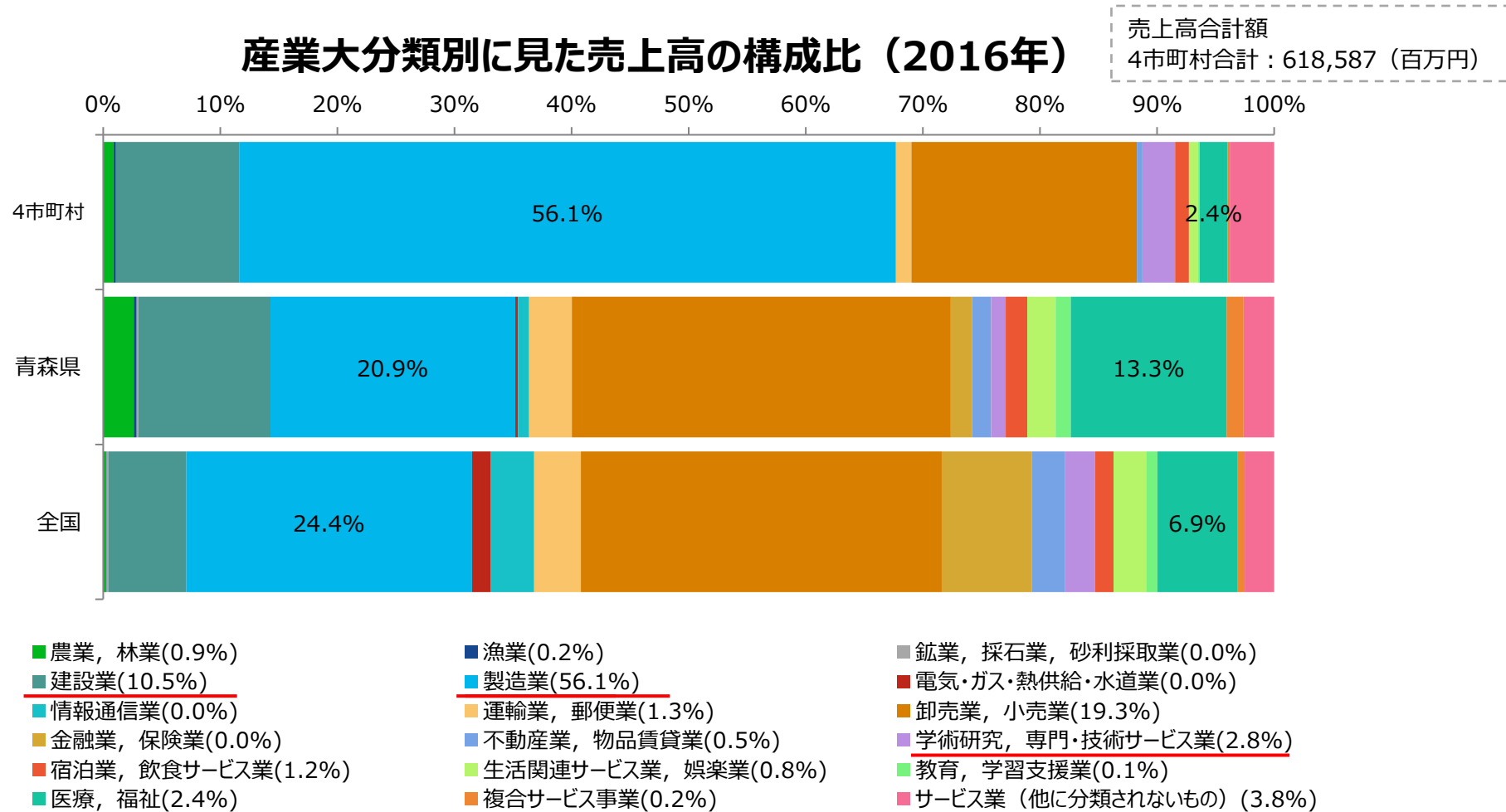


年少人口：0～14歳
生産年齢人口：15～64歳
老年人口：65歳～

4市町村の産業構造（4市町村に本社がある産業別の売上）

- 4市町村に本社がある地場産業の売上比率は、青森県及び全国と比べ、「**製造業**」が2倍以上。また、「**建設業**」、「**学術研究、専門・技術サービス業**」も一定の規模あり。

※なお、出典の「経済センサス」統計では、農林水産業で個人事業主データが含まれていないことに留意。



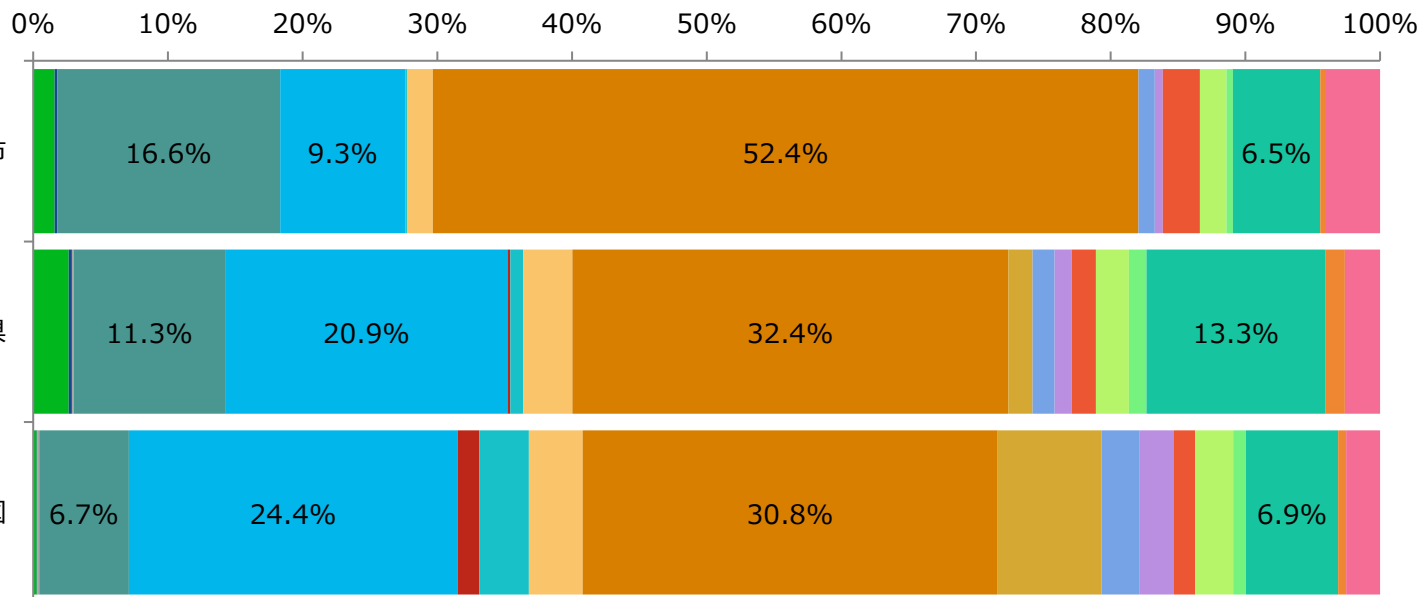
【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工
 【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。

むつ市の産業構造（むつ市に本社がある産業別の売上）

- むつ市に本社がある地場産業の売上比率は、青森県及び全国と比べ、「建設業」、「卸売業、小売業」が大きく、「製造業」は小さい。「医療・福祉」は全国平均と同じ、青森県と比べ小さい。

産業大分類別に見た売上高の構成比（2016年）

売上高合計額
むつ市：194,598（百万円）



個人事業主も含んだ農業、漁業の売上高

農業：157,000（万円）
（2021年）
漁業：578,300（万円）
（2018年）

【出典】
・農業産出額（市区町村単位）
農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
・海面漁獲物等販売金額（市区町村単位）
農林水産省「漁業センサス」再編加工

むつ市の割合

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ■ 農業、林業(1.6%) | ■ 漁業(0.2%) |
| ■ 鉱業、採石業、砂利採取業(0.0%) | ■ <u>建設業(16.6%)</u> |
| ■ <u>製造業(9.3%)</u> | ■ 電気・ガス・熱供給・水道業(0.0%) |
| ■ 情報通信業(0.1%) | ■ 運輸業、郵便業(1.9%) |
| ■ <u>卸売業、小売業(52.4%)</u> | ■ 金融業、保険業(0.0%) |
| ■ 不動産業、物品賃貸業(1.2%) | ■ 学術研究、専門・技術サービス業(0.6%) |

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

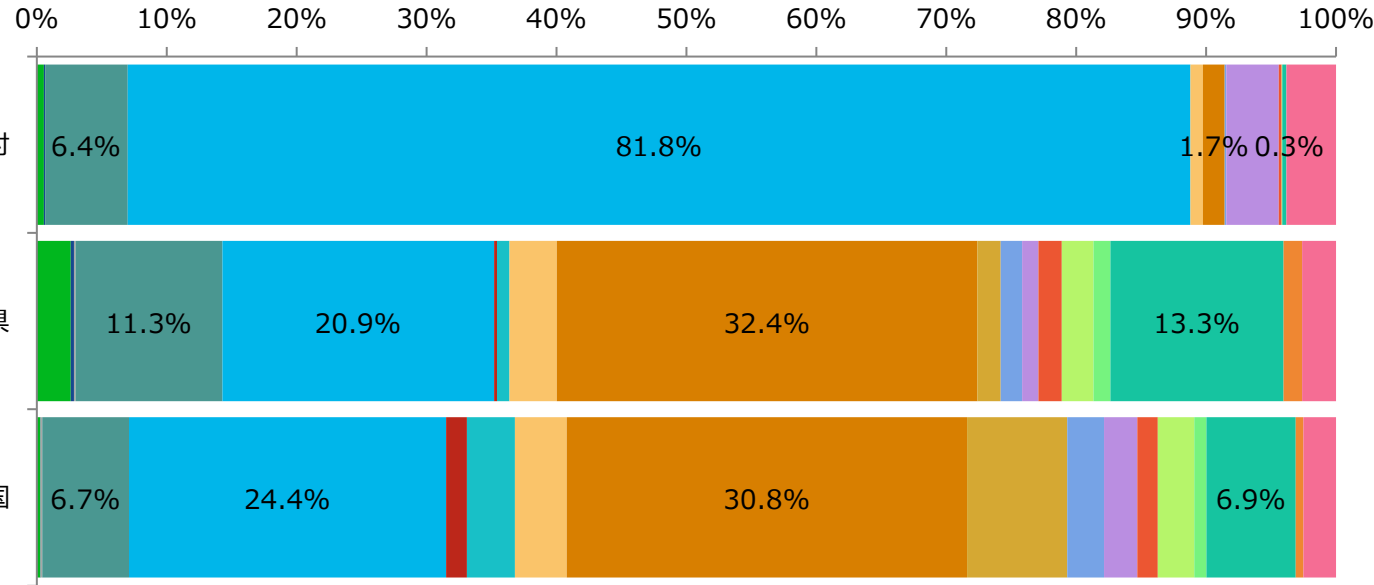
【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。

六ヶ所村の産業構造（六ヶ所村に本社がある産業別の売上）

- 六ヶ所村に本社がある地場産業の売上比率は、青森県及び全国と比べ「**製造業**」、「**学術研究、専門・技術サービス業**」が大きく、「**卸売業、小売業**」、「**医療、福祉**」は小さい。

売上高合計額
六ヶ所村：397,694（百万円）

産業大分類別に見た売上高の構成比（2016年）



個人事業主も含んだ農業、漁業の売上高

農業：670,000（万円）
（2021年）
漁業：80,450（万円）
（2018年）

【出典】
・農業産出額（市区町村単位）
農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
・海面漁獲物等販売金額（市区町村単位）
農林水産省「漁業センサス」再編加工

六ヶ所村の割合

- 農業、林業(0.5%)
- 鉱業、採石業、砂利採取業(0.0%)
- 製造業(81.8%)
- 情報通信業(0.0%)
- 卸売業、小売業(1.7%)
- 不動産業、物品賃貸業(0.1%)
- 宿泊業、飲食サービス業(0.2%)
- 教育、学習支援業(0.0%)
- 複合サービス事業(0.0%)
- 漁業(0.1%)
- 建設業(6.4%)
- 電気・ガス・熱供給・水道業(0.0%)
- 運輸業、郵便業(1.0%)
- 金融業、保険業(0.0%)
- 学術研究、専門・技術サービス業(4.0%)
- 生活関連サービス業、娯楽業(0.1%)
- 医療、福祉(0.3%)
- サービス業（他に分類されないもの）(3.8%)

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

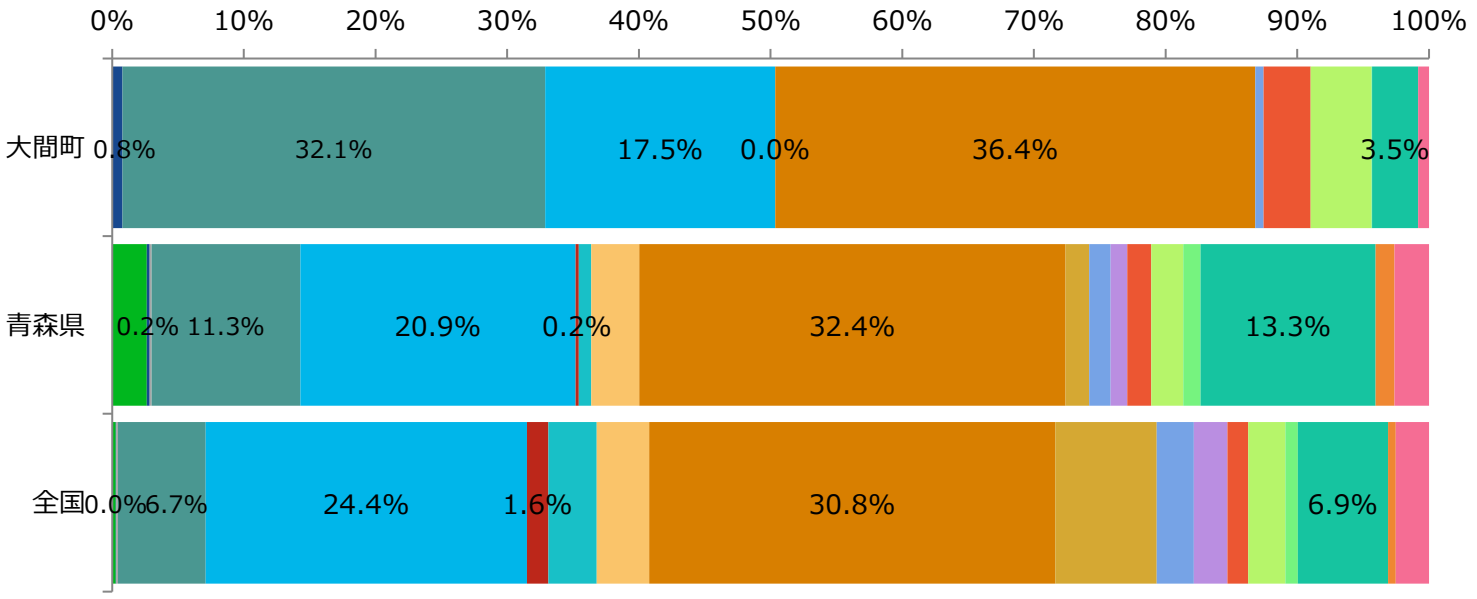
【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。

大間町の産業構造（大間町に本社がある産業別の売上）

- 大間町に本社がある地場産業の売上比率は、「建設業」が青森県及び全国と比べ2倍以上で、「医療、福祉」は小さい。町全体に占める「漁業」の割合も大きい。

産業大分類別に見た売上高の構成比（2016年）

売上高合計額
大間町：16,621(百万円)



大間町の割合

- 農業、林業(0.0%)
- 建設業(32.1%)
- 漁業(0.8%)
- 鉱業、採石業、砂利採取業(0.0%)
- 製造業(17.5%)
- 電気・ガス・熱供給・水道業(0.0%)
- 卸売業、小売業(36.4%)
- 運輸業、郵便業(0.0%)
- 情報通信業(0.0%)
- 金融業、保険業(0.0%)
- 不動産業、物品賃貸業(0.6%)
- 学術研究、専門・技術サービス業(0.0%)
- 宿泊業、飲食サービス業(3.6%)
- 生活関連サービス業、娯楽業(4.6%)
- 教育、学習支援業(0.0%)
- 医療、福祉(3.5%)
- 複合サービス事業(0.0%)
- サービス業（他に分類されないもの）(0.8%)

個人事業主も含んだ農業、漁業の売上高

農業：6,000（万円）
（2021年）
漁業：302,905（万円）
（2018年）

- 【出典】
- ・農業産出額（市区町村単位）
農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
 - ・海面漁獲物等販売金額（市区町村単位）
農林水産省「漁業センサス」再編加工

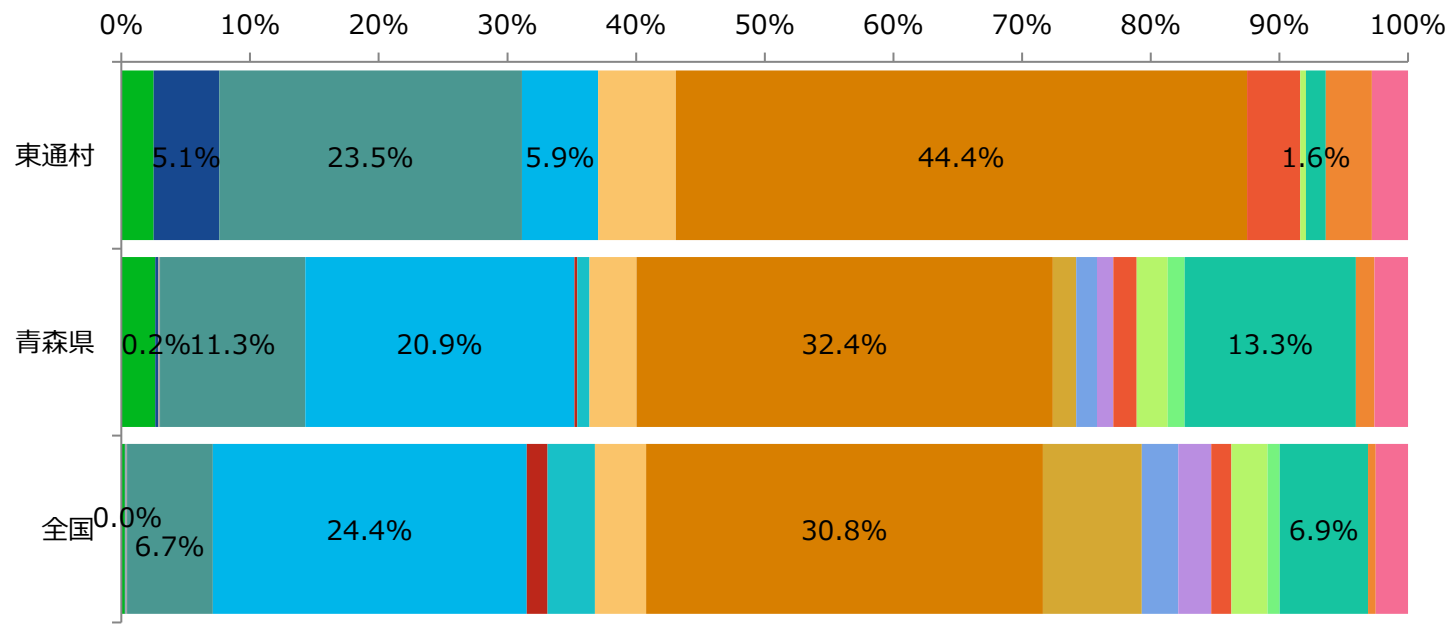
【出典】 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工
【注記】 凡例の数値は選択地域の数値を指す。

東通村の産業構造（東通村に本社がある産業別の売上）

- 東通村に本社がある地場産業の売上比率は、「建設業」が青森県及び全国と比べ2倍以上、「卸売・小売業」も大きく、「製造業」、「医療、福祉」が小さい。町全体に占める「漁業」の割合も大きい。

産業大分類別に見た売上高の構成比（2016年）

売上高合計額
東通村：9,674(百万円)



個人事業主も含んだ農業、漁業の売上高

農業：73,000（万円）
（2021年）
漁業：319,550（万円）
（2018年）

【出典】
・農業産出額（市区町村単位）
農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
・海面漁獲物等販売金額（市区町村単位）
農林水産省「漁業センサス」再編加工

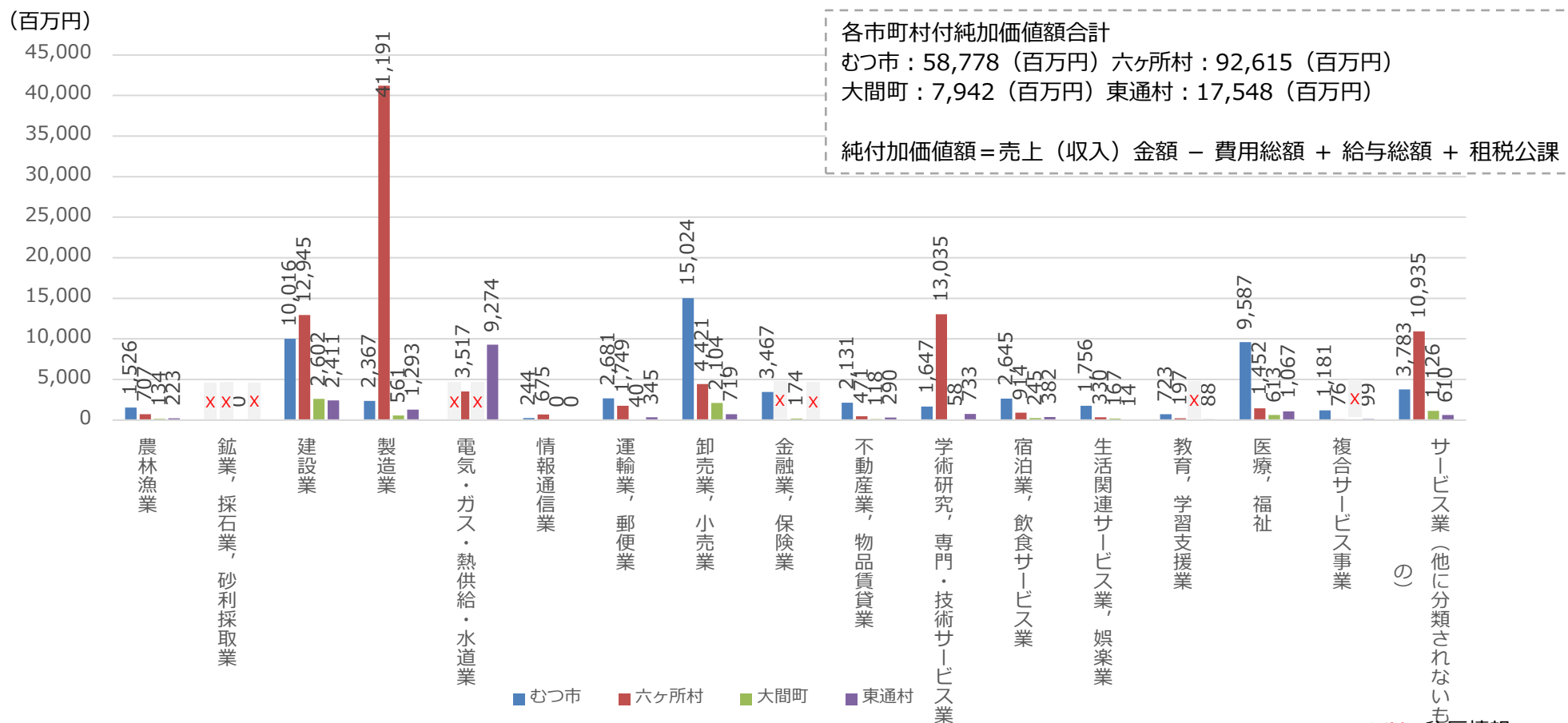
東通村の割合

- 農業, 林業(2.5%)
- 建設業(23.5%)
- 製造業(5.9%)
- 卸売業, 小売業(44.4%)
- 不動産業, 物品賃貸業(0.0%)
- 宿泊業, 飲食サービス業(4.1%)
- 教育, 学習支援業(0.0%)
- 複合サービス事業(3.6%)
- 漁業(5.1%)
- 電気・ガス・熱供給・水道業(0.0%)
- 運輸業, 郵便業(6.0%)
- 金融業, 保険業(0.0%)
- 学術研究, 専門・技術サービス業(0.0%)
- 生活関連サービス業, 娯楽業(0.4%)
- 医療, 福祉(1.6%)
- サービス業 (他に分類されないもの) (2.8%)

【出典】 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工
【注記】 凡例の数値は選択地域の数値を指す。

4市町村の産業構造（単独・本所・支社の総数の純付加価値額）

- **むつ市**は、**医療・福祉**の額が大きい。また、**商業施設**が多く、**卸売業・小売業**の額が大きい。
- **六ヶ所村**は、**製造業、建設業、学術研究・専門・技術サービス業**等の額が大きい。
- **大間町**は、**建設業**の額が大きい。
- **東通村**は、**電気・ガス**等の額が大きい。

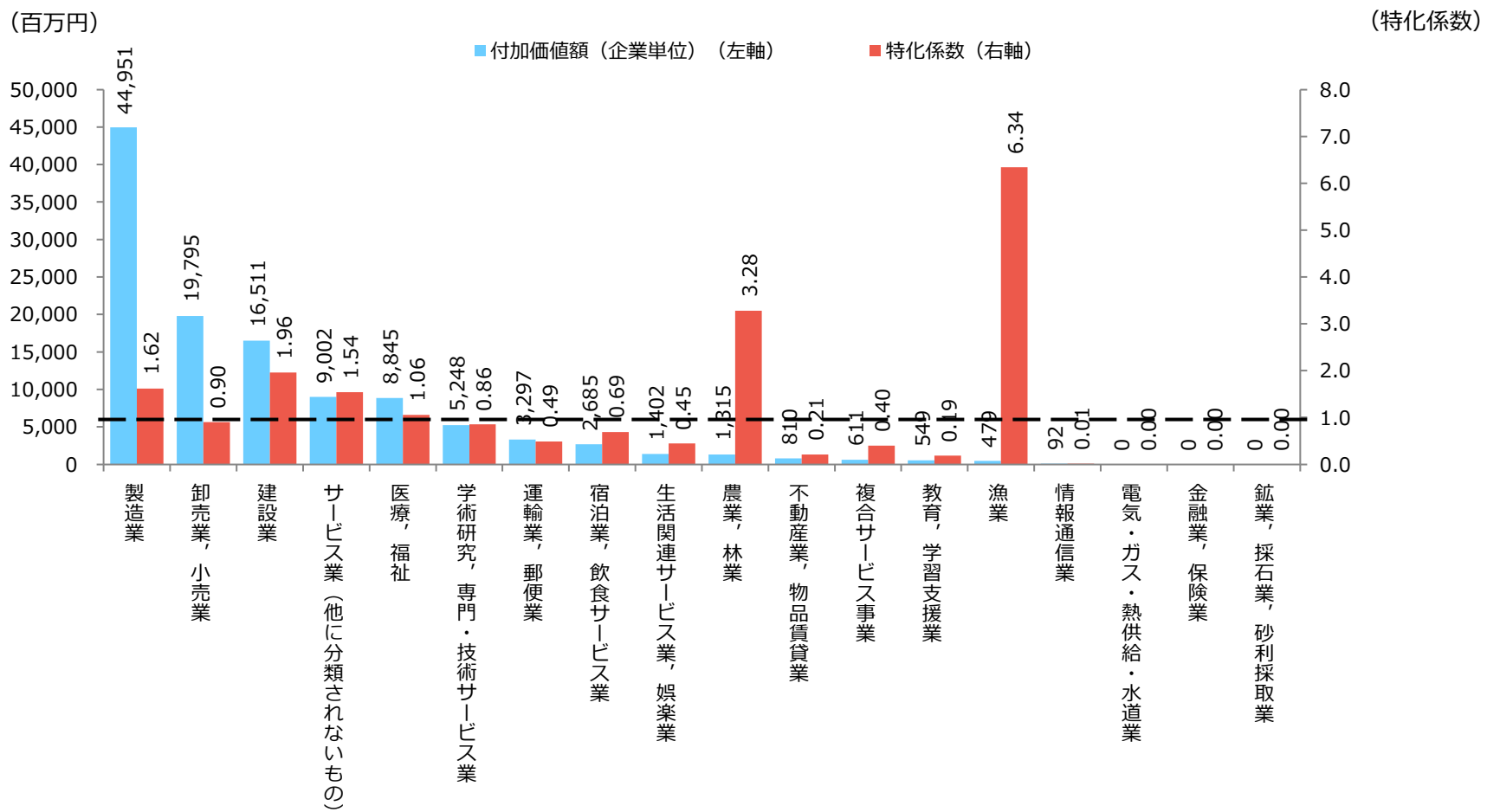


※X = 秘密情報

4市町村の付加価値創出の構造

- 製造業、建設業、サービス業で特化係数が高く、付加価値創出における特徴。

産業大分類別に見た付加価値額（企業単位）（2016年）

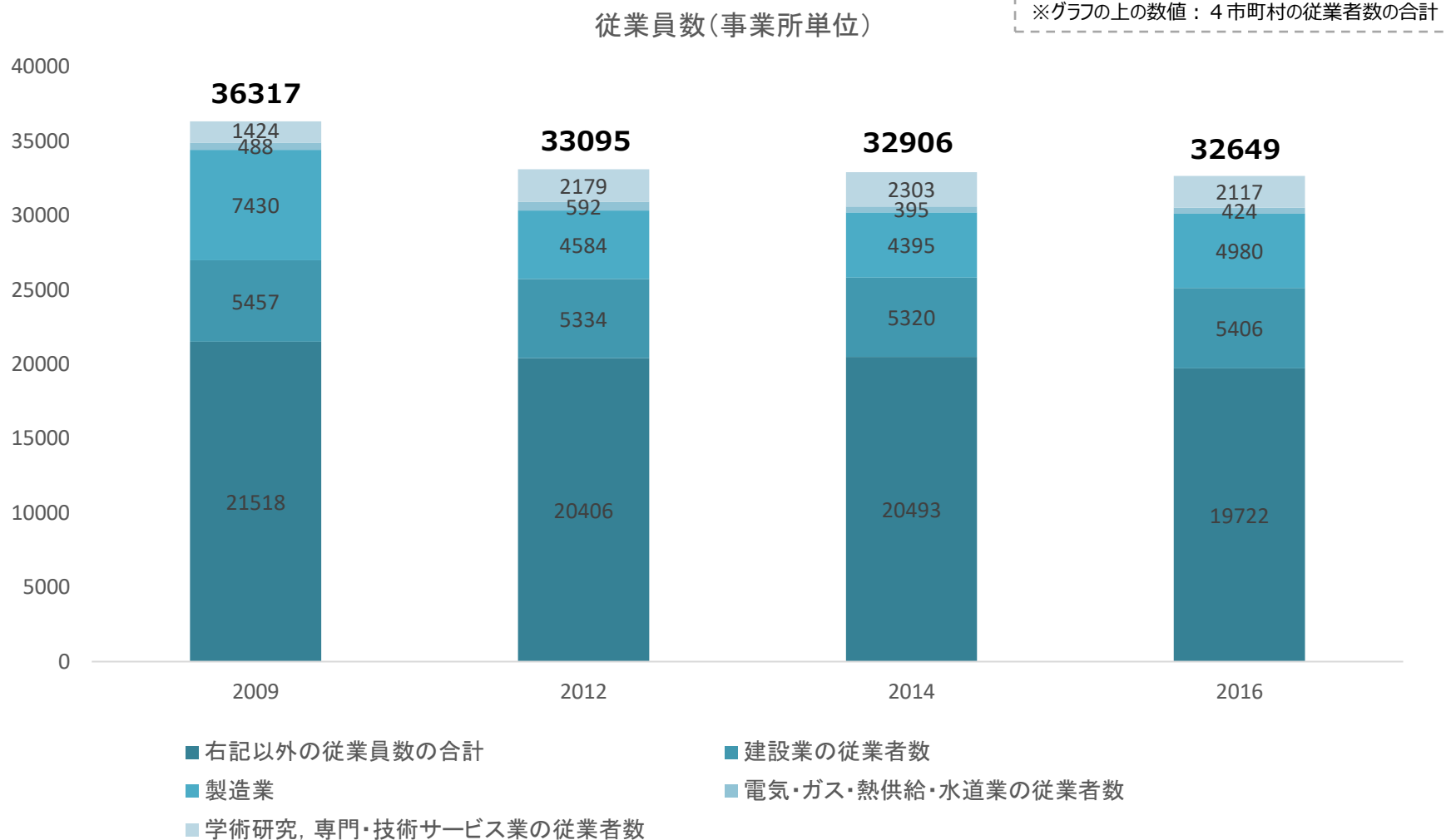


特化係数：域内のある産業の付加価値額の比率を全国の同産業の比率と比較したもの。
1を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

4市町村の従業者数（事業所単位）

- 4市町村の従業者数は、**32,649人**（2016年6月1日現在）。

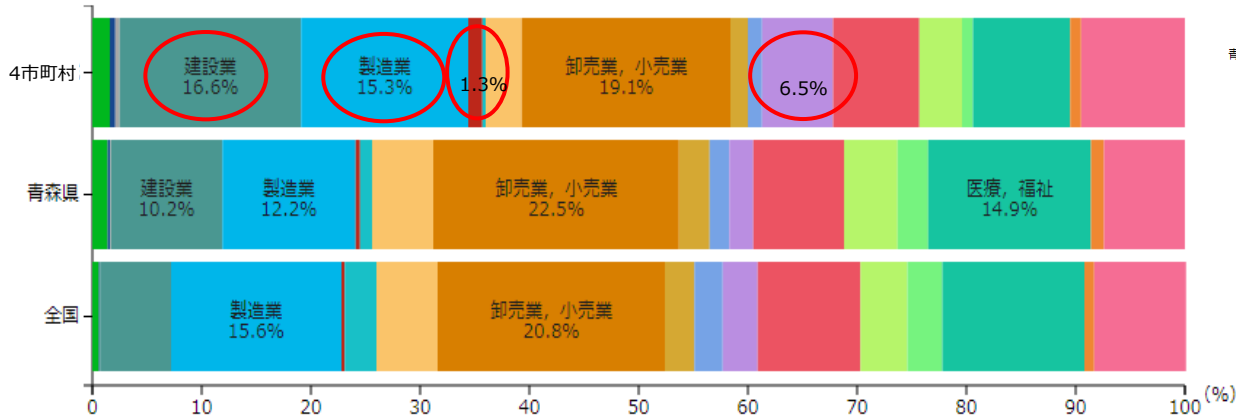


4市町村の産業別従業者数

- 産業別従業者数の割合は、全国・青森県に比べて「建設業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「学術研究、専門・技術サービス業」の割合が高く、全体の20%を超える。

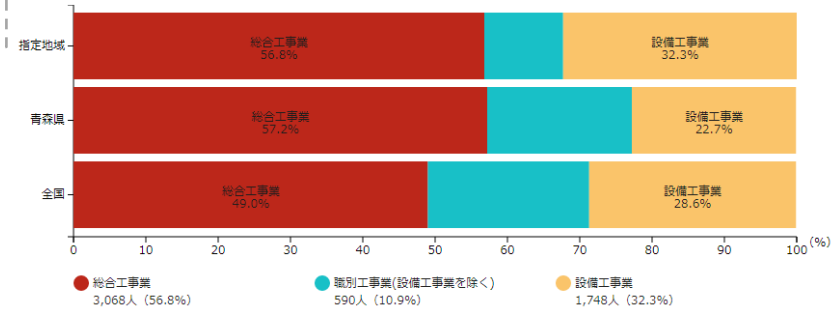
産業大分類別従業者の割合（2016年）

合計人数：32,649人

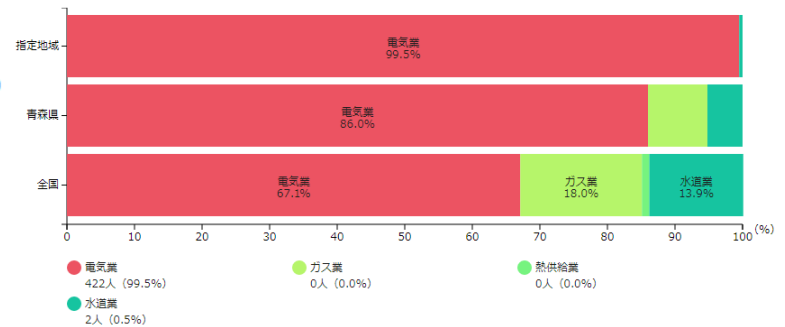


- | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| ● 農業、林業
524人 (1.6%) | ● 漁業
157人 (0.5%) | ● 鉱業、採石業、砂利採取業
135人 (0.4%) |
| ● 建設業
5,406人 (16.6%) | ● 製造業
4,980人 (15.3%) | ● 電気・ガス・熱供給・水道業
424人 (1.3%) |
| ● 情報通信業
97人 (0.3%) | ● 運輸業、郵便業
1,068人 (3.3%) | ● 卸売業、小売業
6,238人 (19.1%) |
| ● 金融業、保険業
523人 (1.6%) | ● 不動産業、物品賃貸業
426人 (1.3%) | ● 学術研究、専門・技術サービス業
2,117人 (6.5%) |
| ● 宿泊業、飲食サービス業
2,578人 (7.9%) | ● 生活関連サービス業、娯楽業
1,286人 (3.9%) | ● 教育、学習支援業
329人 (1.0%) |
| ● 医療、福祉
2,918人 (8.9%) | ● 複合サービス事業
339人 (1.0%) | ● サービス業（他に分類されないもの）
3,088人 (9.5%) |

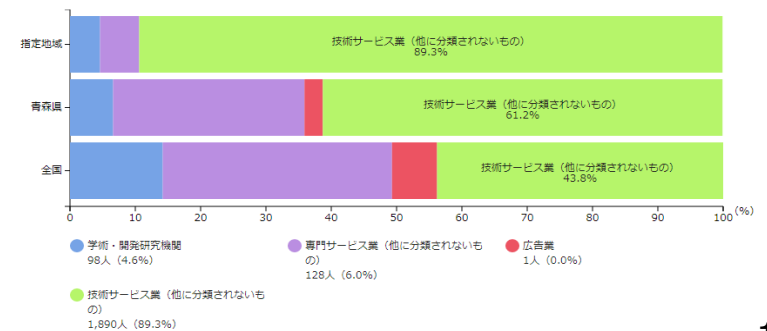
建設業



電気・ガス・熱供給・水道業



学術研究、専門・技術サービス業



【出典】

総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

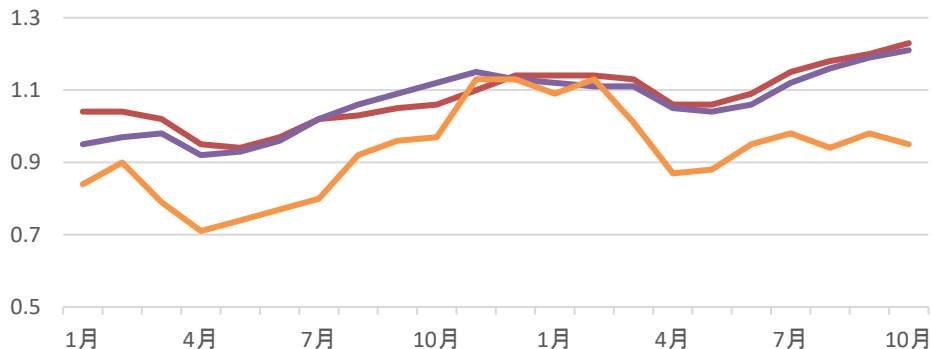
4市町村の産業別有効求人倍率

- ハローワークむつでの職種別の有効求人倍率は、全国や青森県と同様の傾向。「**保安**」、「**建設・採掘**」などで高くなっている。

	日本全体			青森県全体			ハローワークむつ		
	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率
管理的職業	9,886	8,116	1.22	65	31	2.10	5	0	0.00
専門的・技術的職業	482,424	253,886	1.90	4,332	1,928	2.25	156	67	2.33
事務的職業	215,151	477,067	0.45	2,123	4,497	0.47	96	260	0.37
販売の職業	220,831	113,285	1.95	2,452	1,390	1.76	187	82	2.28
サービスの職業	560,559	181,684	3.09	5,684	2,314	2.46	228	138	1.65
保安の職業	82,279	11,488	7.16	590	142	4.15	45	11	4.09
農林漁業の職業	18,827	13,869	1.36	338	259	1.31	15	17	0.88
生産工程の職業	242,605	121,996	1.99	2,993	1,449	2.07	151	93	1.62
輸送・機械運転の職業	133,848	61,745	2.17	1,626	913	1.78	65	50	1.30
建設・採掘の職業	123,563	22,838	5.41	2,402	608	3.95	163	48	3.40
運搬・清掃等の職業	217,822	264,539	0.82	2,626	3,575	0.73	72	232	0.31
分類不能	—	351,363	—	—	3,767	—	—	253	—
合計	2,307,795	1,881,876	1.23	25,231	20,873	1.21	1,183	1,251	0.95

有効求人倍率の推移（2021年～2022年）

— 日本 — 青森県 — むつ



出典

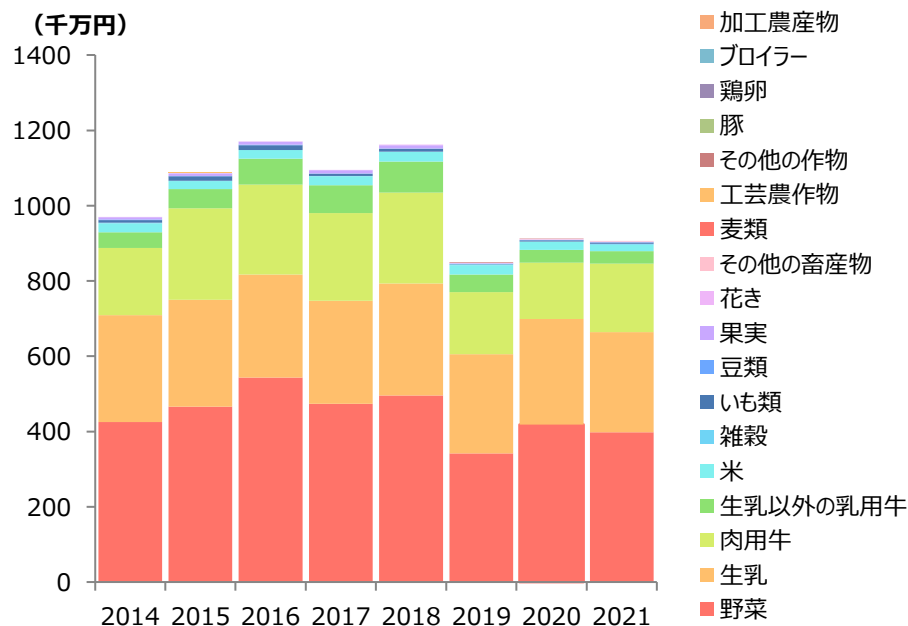
厚生労働省「職業安定業務統計」、青森労働局「求人・求職バランスシート」より
経済産業省作成

専門的・技術的職業：開発技術者、製造技術者、建築・土木・測量技術者等
輸送・機械運転の職業：自動車運転の職業、定置・建設機械運転の職業等
生産工程の職業：生産設備、製品製造・加工処理、製品検査等
建設・採掘の職業：建設の職業、電気工事の職業、土木の職業等

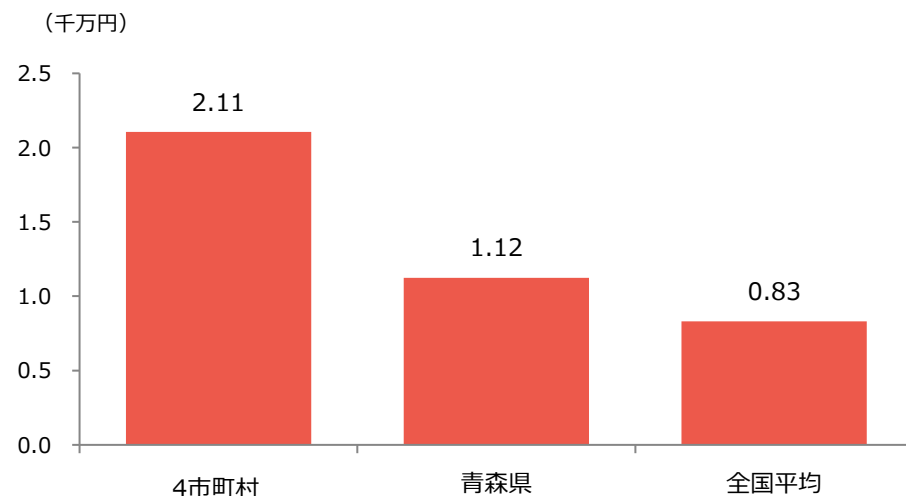
4市町村の農業（個人事業主を含む）

- 4市町村では**野菜や生乳、肉用牛**が産出額に大きく寄与している。
- **経営体あたりの農業産出額**は、全国及び青森県と比較して約**2倍**。

農業産出額の推移



経営体あたりの農業産出額（2020年）



農業産出額の市町村別内訳

- 野菜**：むつ市53、六ヶ所村331、東通村14
- 生乳**：むつ市49、六ヶ所村202、東通村15
- 肉用牛**：むつ市42、六ヶ所村106、大間町5、東通村29

(単位：千万円)

【出典】農林水産省「農林業センサス」

全国単位 農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」
都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
市区町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

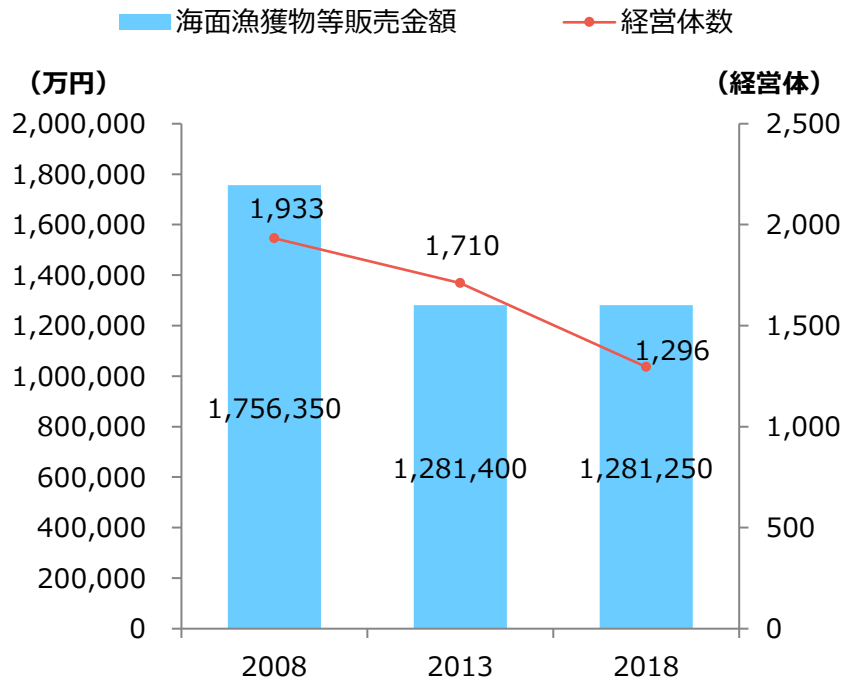
【注記】1 経営体当たり農業産出額は、農業産出額を農業経営体数（家族経営体、組織経営体の合計）で除した試算値である。
農業経営体には、販売なしの経営体を含む。

【出典】農業産出額（都道府県単位） 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」 農業産出額（市区町村単位） 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
農業経営体数 農林水産省「農林業センサス」再編加工

4市町村の水産業（個人事業主を含む）

- 近年では経営体数自体は減少してきているものの、販売金額は、2013年から2018年ではほぼ横ばい。むつ市、大間町、東通村で、比較的大きい。
- また、経営体あたりの漁獲物等販売額は、全国及び青森県と比較すると小さい。

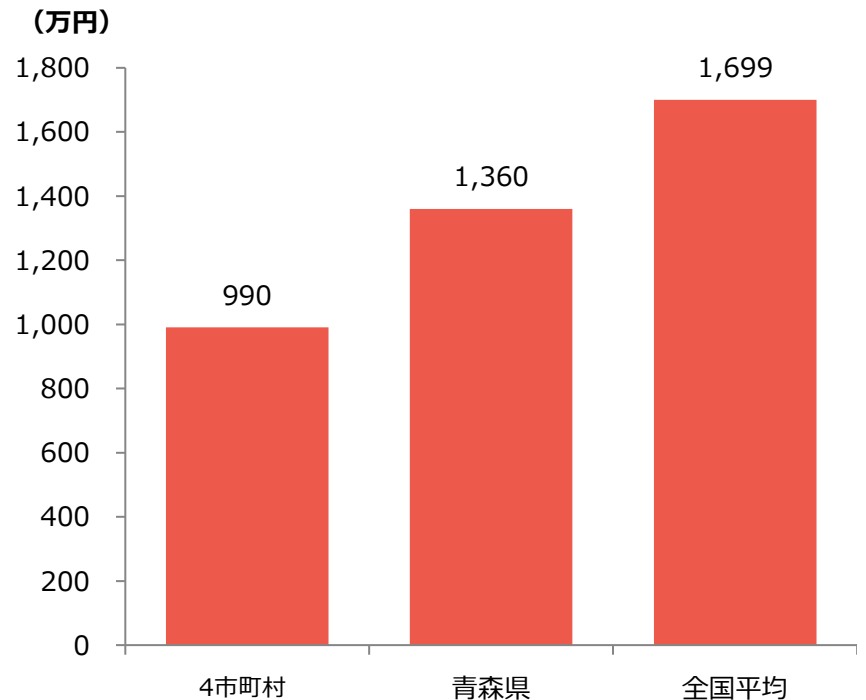
販売金額・経営体数の推移



2018年（単位：万円）
 むつ市：578,300、六ヶ所村：80,450
 大間町：302,905、東通村：319,550

【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
 【注記】 販売金額＝Σ（各階層中位数×各階層経営体数）最上位層の中位数は海面漁獲物16億円として推計。
 海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。

経営体あたりの漁獲物等販売金額（2018年）

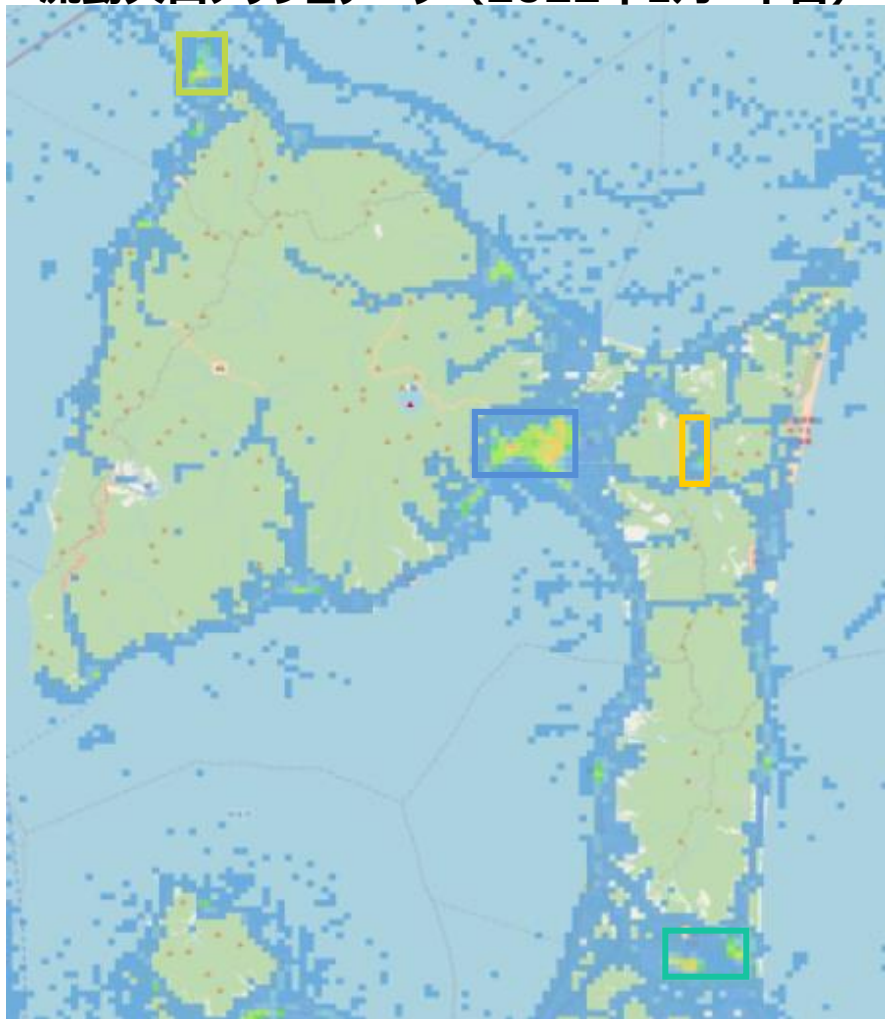


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工
 【注記】 販売金額＝Σ（各階層中位数×各階層経営体数）最上位層の中位数は海面漁獲物16億円として推計。
 海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。

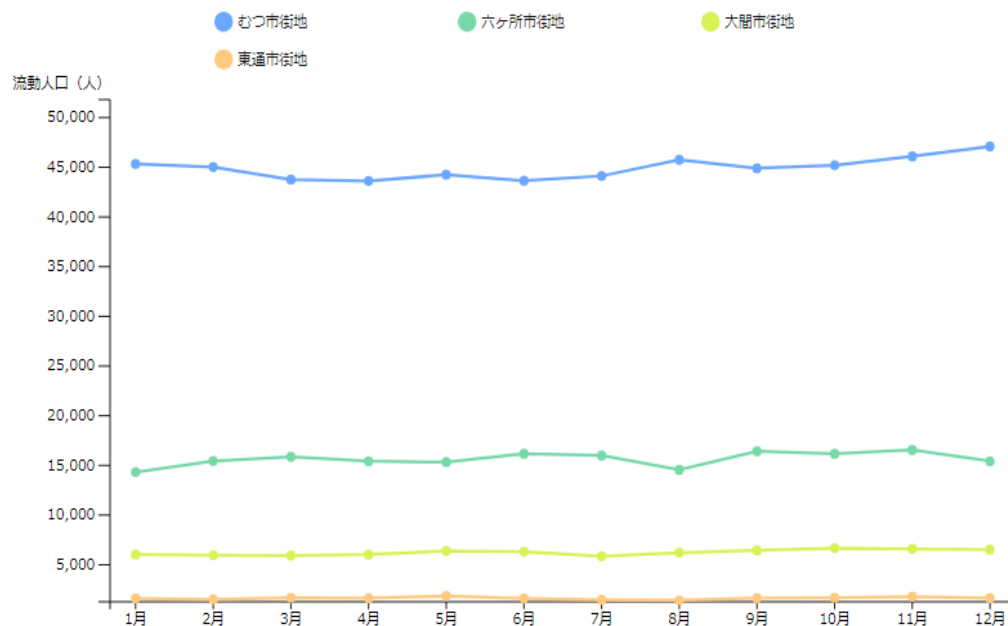
4市町村の市街地における流動人口（平日）

- 4市町村とも、流動人口の季節間変動は小さい。
- 六ヶ所村では、平日は休日（次ページ）に比べ**3倍程度多い**。その他の市町村では、休日、平日で大きな差はない。

流動人口メッシュデータ（2022年1月 平日）



流動人口月別推移（2022年の平日）



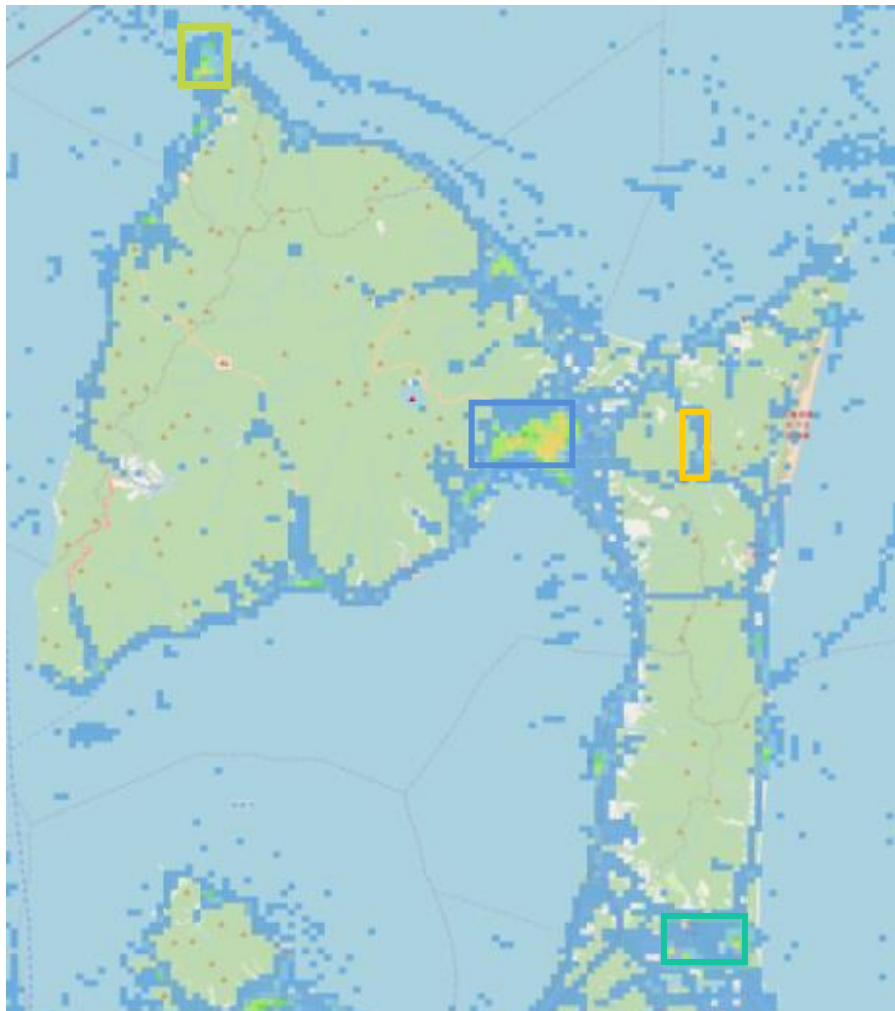
【出典】「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

※1 ある地点に滞留している人の合計値

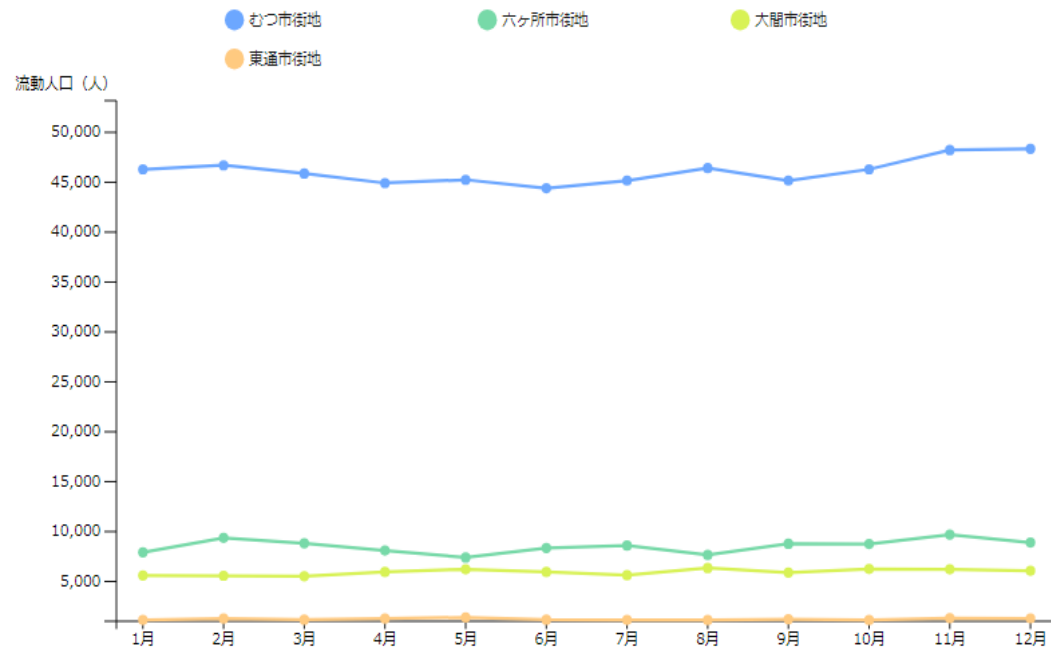
※2 「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供するアプリケーションの利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、個人を特定する情報は含まれない。

4市町村の市街地における流動人口（休日）

流動人口メッシュデータ（2022年1月 休日）



流動人口月別推移（2022年の休日）



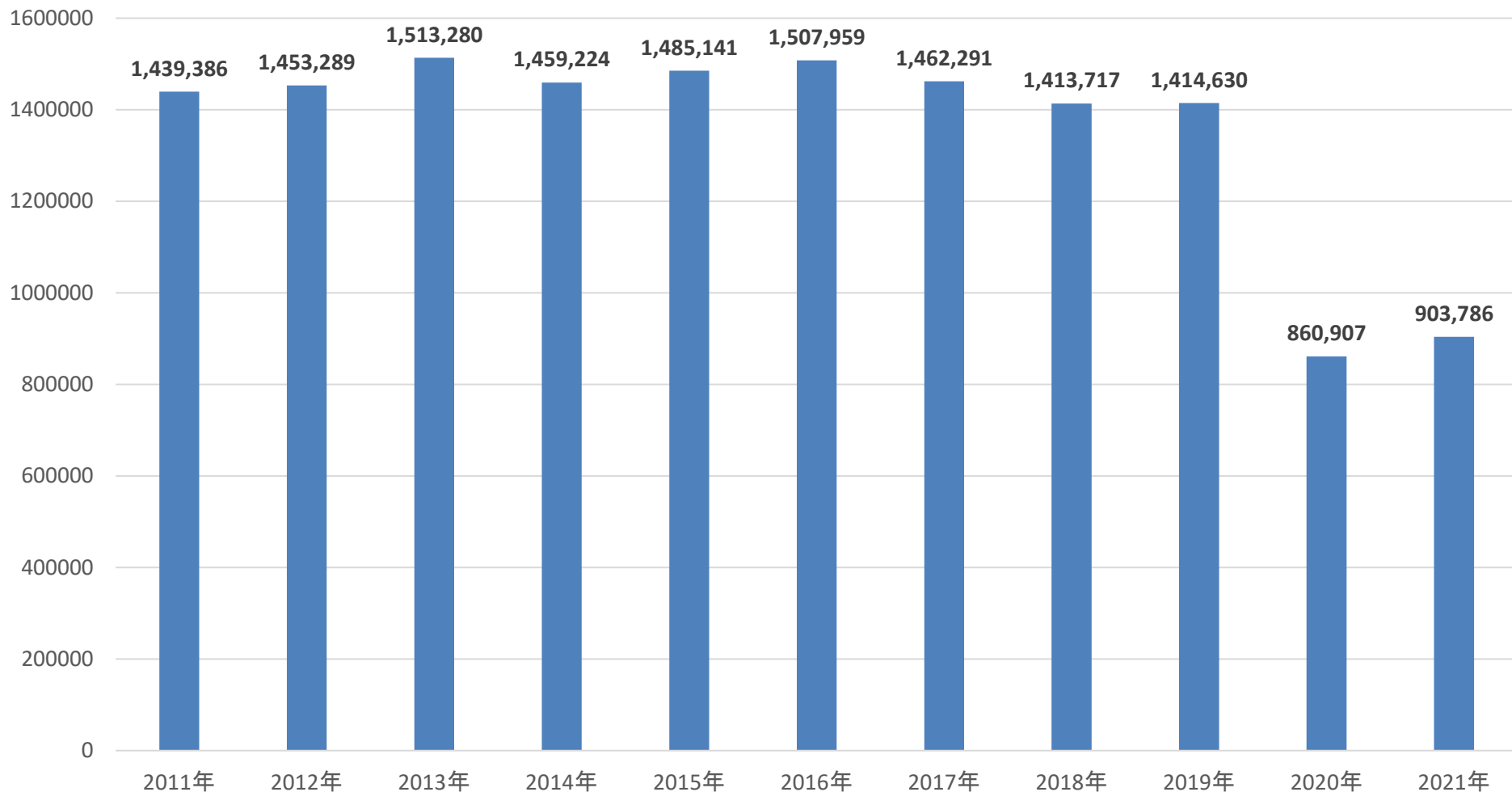
【出典】「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

※1 ある地点に滞留している人の合計値

※2 「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供するアプリケーションの利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、個人を特定する情報は含まれない。

4市町村の観光客入込数

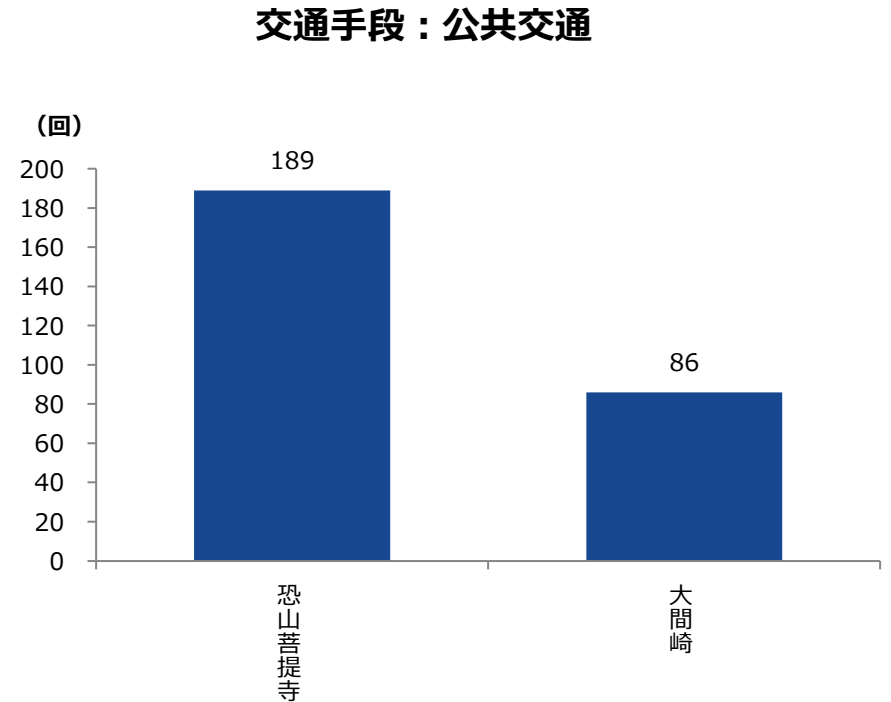
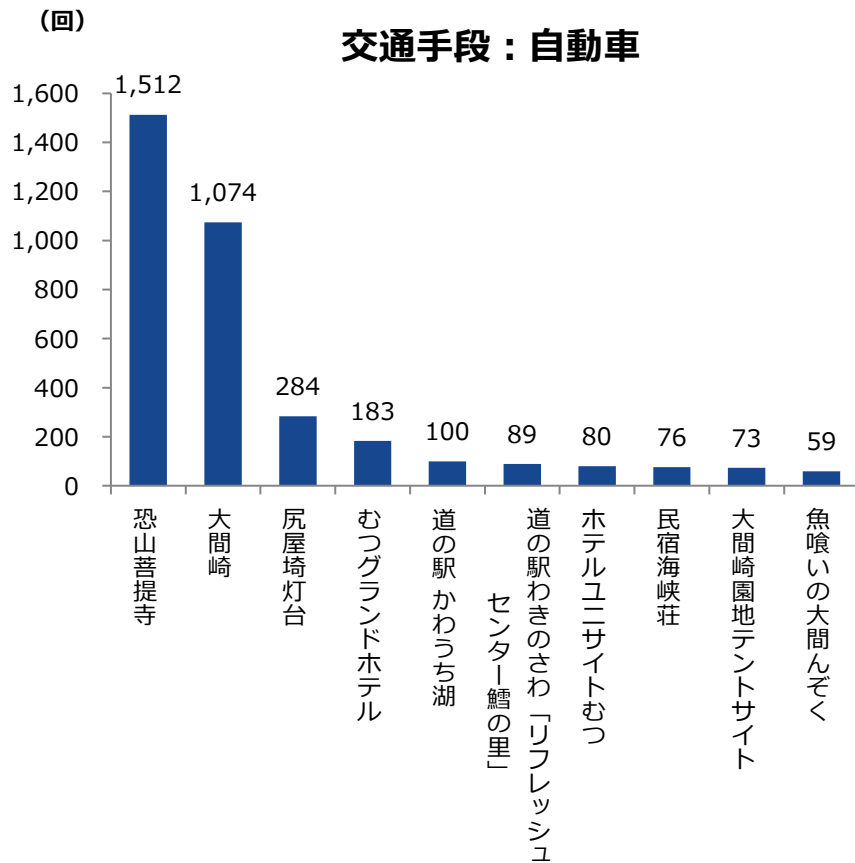
- 4市町村の観光客入込数は、**コロナ前（2019年以前）は各年延べ約150万人、コロナ渦（2020年以降）では各年延べ約90万人へ減少**。※2021年の青森県内全体のは延べ約2284万人。



4市町村の観光客の関心

- 4市町村の主な観光地の検索先は、**恐山菩提寺と大間崎**が多い。
- 観光における**主な交通手段は自動車**。公共交通手段では、観光施設の選択肢は限定的。

観光施設等を目的とした検索回数月間ランキング



【出典】株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

【注記】検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。下記条件に全て該当した場合にのみ表示。

- ・施設分類が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるレジャー施設や商業施設に該当
- ・年間検索回数が自動車は50回、公共交通は30回以上
- ・年間検索回数が全国1000位以内または都道府県別50位以内または市区町村別10位以内

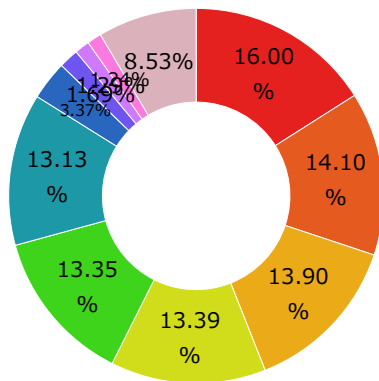
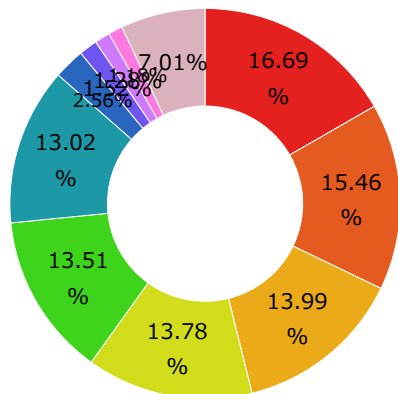
青森県の外国人観光客

- 外国人観光客の多くは、**東北**（青森、岩手、宮城、秋田）、**東京**、**北海道**から**青森県**を訪れ、同様に**青森県**から**東北**（秋田、青森、岩手、宮城）、**東京**、**北海道**へ移動。
- 国別では、**台湾**をはじめ**アジア圏**が多い。

青森県の移動相関分析

直前に滞在した地域(2019年)

直後に滞在した地域(2019年)

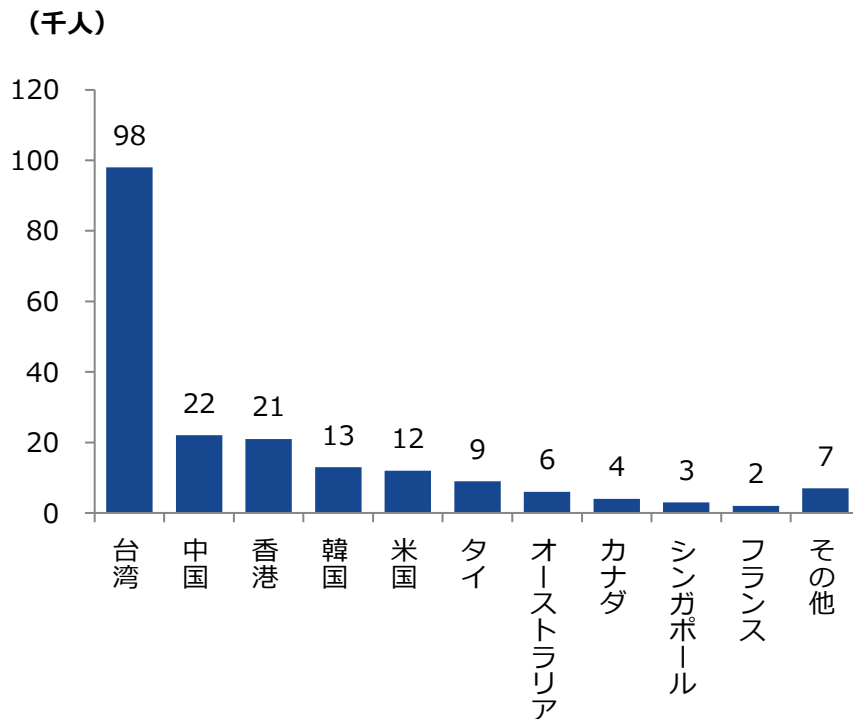


- 1位 青森県(27,365人)
- 2位 東京都(25,338人)
- 3位 岩手県(22,934人)
- 4位 宮城県(22,593人)
- 5位 北海道(22,146人)
- 6位 秋田県(21,353人)
- 7位 山形県(4,205人)
- 8位 福島県(2,486人)
- 9位 大阪府(2,092人)
- 10位 京都府(1,942人)
- その他(11,487人)

- 1位 秋田県(31,051人)
- 2位 青森県(27,365人)
- 3位 岩手県(26,975人)
- 4位 東京都(25,990人)
- 5位 北海道(25,912人)
- 6位 宮城県(25,471人)
- 7位 山形県(6,533人)
- 8位 千葉県(3,286人)
- 9位 福島県(2,503人)
- 10位 栃木県(2,398人)
- その他(16,558人)

【出典】国土交通省「FF-Data（訪日外国人流動データ）」

青森県への国・地域別外国人訪問客数（2019年）



【出典】観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」
 【注記】「地域別の訪日外客数＝地域別の訪問率【観光・レジャー目的】×訪日外客数×旅行目的別構成比【観光・レジャー目的】」により推計している。

4 市町村の産業構造 まとめ

- 青森県全体と同じく人口減少傾向にあり、2045年に向けては、生産年齢人口が大きく減少し、経済の担い手が減少。
- 産業構造は市町村それぞれに特徴があり、むつ市は、商業施設が多く「卸売業・小売業」が、六ヶ所村は、原子力関連施設等に伴う「製造業」が、大間町と東通村は、「建設業」や「漁業」が主要な産業となっている。これらの主要産業において、付加価値額も大きい傾向にあり、地域産業の稼ぎの中核となっている。
- 産業別従業者数では、「建設業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「学術研究、専門・技術サービス業」は安定的な雇用を維持しており、地域雇用の一翼を担っている。
- 産業別の有効求人倍率は全国、青森県と同様の傾向。特に「保安」や「建設・採掘」の職種で、有効求人倍率が大きくなっている。
- 農業は、経営体当たりの出荷額が比較的大きい。漁業は、むつ市、大間町、東通村で比較的販売額が大きく、経営体当たりの出荷額は比較的小さい。
- 休日及び平日の流動人口の季節間変動は小さい。また、観光における主な手段は自動車となっている。青森県に訪れる外国人観光客は、台湾をはじめとするアジア圏が主。